

大垣市民病院に車いす

大垣西濃信金
「ノムラ」 私募債を活用、贈る

大垣西濃信用金庫は、大垣市南類町の工作機械工具販売業「ノムラ」が発行した地域貢献型私募債「絆」を活用し、同町の市民病院に車いす5台を寄贈した。



川合秀明事務局長(左から2人目)に目録を手渡す野村正壽社長(同3人目)＝大垣市南類町、市民病院

企業の私募債発行により同金庫が受け取る手数料の一部で、企業側が指定した学校や団体に対して物品を寄贈する取り組み。

贈呈式は同病院であり、同社の野村正壽社長は「来年で創業60年を迎えるが常に地域密着型企業を心掛けてきた。大垣市民病院は地域社会になくてはならない存在として西濃一円のために尽力されており、寄贈が一助になれば」とあいさつ。同金庫本店営業部の倉橋慎一郎長とともに同病院の川合秀明事務局長に目録を手渡した。(古家政徳)